

「Mastercam®2021」9月1日リリース

ジェービーエムエンジニアリング 柔軟な多軸加工機能を高速化

よび安全面での改良が加えられており、加工における生産性の向上と全体的な生産コストの削減を強力にサポートする。

新たな機能の特長は次の通り。

▽さらに高速になった柔軟な多軸プログラミング機能

▽ワンチャッキングでの合理的な多軸加工がさらに増えている現状を踏まえ、「Mastercam 2021」には新たな多軸ツールパス機能が追加された。

▽機能が拡張された複合軸ホケット加工では、パレル工具やレンズ工具をサポートするAccelerated Finish技術を用いた仕上げ加工の開発に注力し、指定した工具部位でワークとの接触を維持することができ、

▽その他、モデル形

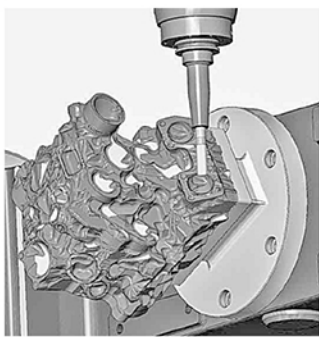
状に対して複数の平面から三軸の粗取り加工を計算することができ、自動削り出し粗取りツールパスなどが追加されている。

【旋削および旋削関連の機能強化】

▽「Mastercam 2021」では、チャックや爪の作成機能がソリッドモデルに対応している。

▽「Mastercam Mill-Turn」ではコレットチャックにも対応し、サポートできる工作機械の幅が大きく広がった。また、Mill-TurnのシミュレーションはMastercamシミュレーターのインタフェースと統一されており、従来のシミュレーターと同じ画面周りで使用できるようになっている。

【NCプログラム速度、安全性、精度を向上】



2021 新機能 自動削り出し粗取りツールパス

▽「Mastercam 2021」で追加された高度なドリル機能では、一つの穴の深さを複数の区間に分けることで細かな編集ができ、深穴や裏座ぐりの加工に便利に使用できる。

同じく新機能の面取りドリル ツールパスは、先端に角度の付いた刃物で穴を面取り加工する際の切込み深さを自動的に計算する。また、径や平面が異なる穴に対して一本の工具で対応でき、工

程を分けて正確な深さでツールパスを生成することが可能になっている。

【問合せ先】 本社 ☎ 06(6744)7331、名古屋 ☎ 052(773)5711